

第 9 回

熊本県議会

決算特別委員会会議記録

令和2年11月25日

(令和元年度決算)

(決算の認否・報告案)

開 会 中

場所 全 員 協 議 会 室

第 9 回 熊本県議会 決算特別委員会会議記録

令和2年11月25日(水曜日)

午前10時24分開議

午前10時33分閉会

本日の会議に付した事件

- 1 令和元年度一般会計、各特別会計、病院事業会計及び企業局3事業会計の決算認定等について

議案第35号 令和元年度熊本県一般会計歳入歳出決算の認定について

議案第36号 令和元年度熊本県中小企業振興資金特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第37号 令和元年度熊本県母子父子寡婦福祉資金特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第38号 令和元年度熊本県収入証紙特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第39号 令和元年度熊本県立高等学校実習資金特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第40号 令和元年度熊本県港湾整備事業特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第41号 令和元年度熊本県臨海工業用地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第42号 令和元年度熊本県用地先行取得事業特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第43号 令和元年度熊本県育英資金等貸与特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第44号 令和元年度熊本県林業改善資金特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第45号 令和元年度熊本県沿岸漁

業改善資金特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第46号 令和元年度熊本市町村振興資金貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第47号 令和元年度熊本県流域下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第48号 令和元年度熊本県高度技術研究開発基盤整備事業等特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第49号 令和元年度熊本県のチッソ株式会社に対する貸付けに係る県債償還等特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第50号 令和元年度熊本県公債管理特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第51号 令和元年度熊本県国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第52号 令和元年度熊本県病院事業会計決算の認定について

議案第53号 令和元年度熊本県電気事業会計資本剰余金の処分、資本金の額の減少及び決算の認定について

議案第54号 令和元年度熊本県工業用水道事業会計資本剰余金の処分及び決算の認定について

議案第55号 令和元年度熊本県有料駐車場事業会計利益の処分及び決算の認定について

- 2 決算特別委員長報告について

出席委員(12人)

委員長 田代国広

副委員長 高木健次

委員 松田三郎

委員 小早川 宗 弘
 委員 磯 田 毅
 委員 河 津 修 司
 委員 西 山 宗 孝
 委員 竹 崎 和 虎
 委員 池 永 幸 生
 委員 城 戸 淳
 委員 本 田 雄 三
 委員 荒 川 知 章

欠席委員(なし)

委員外議員(なし)

説明のため出席した者

知事公室

公室長 白 石 伸 一
 政策調整監 津 川 知 博

総務部

部長 山 本 倫 彦
 人事課長 城 内 智 昭
 財政課長 梅 川 日出樹

企画振興部

部長 高 橋 太 朗
 企画課長 阪 本 清 貴

健康福祉部

部長 渡 辺 克 淑
 首席審議員
 兼健康福祉政策課長 下 山 薫

環境生活部

部長 藤 本 聡
 政策審議監
 兼環境政策課長 松 岡 正 之

商工労働部

部長 藤 井 一 恵
 商工政策課長 臼 井 洋 介

観光戦略部

部長 寺 野 慎 吾
 首席審議員
 兼観光交流政策課長 府 高 隆

農林水産部

部長 竹 内 信 義

首席審議員

兼農林水産政策課長 渡 邊 泰 浩

土木部

部長 上 野 晋 也
 監理課長 木 山 晋 介

出納局

会計管理者兼出納局長 本 田 充 郎

企業局

局長 藤 本 正 浩

総務経営課長 永 松 浩 史

病院局

病院事業管理者 吉 田 勝 也

総務経営課長 杉 本 良 一

教育委員会

教育長 古 閑 陽 一

教育政策課長 井 藤 和 哉

警察本部

本部長 岸 田 憲 夫

参事官兼会計課長 原 田 聖 哉

人事委員会事務局

局長 青 木 政 俊

公務員課長 工 藤 真 裕

労働委員会事務局

局長 谷 口 誠

審査調整課長 吉 田 桂 司

議会事務局

局長 吉 永 明 彦

次長兼総務課長 横 尾 徹 也

出納局職員出席者

会計課長 村 上 勲

監査委員・同事務局職員出席者

監査委員 福 島 誠 治

局長 富 永 章 子

監査監 林 田 孝 二

事務局職員出席者

議事課主幹 山 本 さおり

議事課主幹 平 江 正 博

午前10時24分開議

○田代国広委員長 それでは、ただいまから第9回決算特別委員会を開会いたします。

本日は、本委員会に付託されました各決算関係議案の採決と閉会日に行う委員長報告について御審議をお願いいたします。

早速議案の採決に入りますが、企業局関係議案第53号から議案第55号までについては、決算認定と併せて、地方公営企業法第32条第2項の規定に基づく利益の処分、同条第3項の規定に基づく資本剰余金の処分、同条第4項に基づく資本金の額の減少について議決を求める内容となっておりますので、そのほかの議案と区分してお諮りいたします。

それではまず、議案第35号から第52号まで一括して採決したいと思います。御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○田代国広委員長 御異議なしと認め、一括して採決いたします。

議案第35号から第52号まで、原案のとおり認定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○田代国広委員長 御異議なしと認めます。よって、議案第35号から第52号までは、原案のとおり認定することに決定いたしました。

それでは、次に、議案第53号から第55号まで一括して採決したいと思います。御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○田代国広委員長 御異議なしと認め、一括して採決いたします。

議案第53号から第55号まで、原案のとおり可決及び認定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○田代国広委員長 御異議なしと認めます。よって、議案第53号から第55号までは、原案のとおり可決及び認定することに決定いたし

ました。

次に、委員長報告についてお諮りいたします。

ただいまから委員長報告案を配付させます。

（資料配付）

○田代国広委員長 まず、章立てにつきましては、前回の委員会でお諮りしたとおりでございます。

「第1 審査方針」は、第2回委員会で御了承いただいた内容を記載しております。

また、「第2 決算の概要」では、各会計の決算概要を簡単に記載しております。

「第3 歳入確保と予算執行」、「第4 施策推進上改善または検討を要する事項等」については、前回の委員会で御了承いただいた内容を記載しております。

「第5 結論」は、本日の採決結果に沿った内容となります。

内容につきましては、担当書記から、前回の第8回委員会から変更になった部分のみを説明することによってよろしいでしょうか。

（「はい」と呼ぶ者あり）

○田代国広委員長 それでは、説明してください。

○山本議事課主幹 変更部分の説明をさせていただきます。変更箇所は4か所になります。

8ページを開けてください。

「第3 歳入確保と予算執行」のうち、4行目から10行目について、二重取消し線を入れた部分を削除し、アンダーラインを入れた部分を挿入しております。

該当部分を読ませていただきます。

県民の生活や地域経済に深刻な影響が及んでおり、今後の景気動向や地方財政を巡る状況の変化等によっては、厳しい財政運営を強いられるおそれがあります。そのため。

続きまして、12ページを開けてください。

農林水産部の2行目から4行目について、二重取消し線を入れた部分を削除し、アンダーラインを入れた部分を挿入しております。

農林水産部の全文を読ませていただきます。

【農林水産部】

4 有害鳥獣に係る農業被害について、関係各部各課が連携した対策により、一部減少傾向にあるが、依然として、農林漁業者等住民の不安も強いことから、一層の対策に取り組むこと。

続きまして、13ページ、教育委員会の7番、15ページ、警察本部の11番につきましても委員の御意見に沿って、語句の修正をしております。

以上です。

○田代国広委員長 以上のように変更しましたので、委員長報告は、この案のとおり行うこととしてよろしいでしょうか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○田代国広委員長 それでは、そのように取り計らいます。

なお、軽微な字句の修正等がある場合は、私に一任していただいてよろしいでしょうか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○田代国広委員長 これで本委員会の審議は全て終了いたしました。

ここで、執行部を代表して、本田会計管理者に御挨拶をお願いします。

○本田会計管理者 執行部を代表いたしまして、一言お礼を申し上げます。

令和元年度決算の認定につきましては、9月定例会に議案を上程して以来、本委員会におきまして、田代委員長、高木副委員長をはじめ委員の皆様方に熱心な御審議をいただきました。

9回にわたる御審議の上、本日、一般会

計、特別会計及び病院局と企業局の企業会計の決算等につきまして、認定及び可決との御決定をいただきました。誠にありがとうございました。

委員長報告の歳入確保と予算の執行では、収入未済の解消につきまして、貴重な自主財源の確保と県民負担の公平、公正の維持の観点から、費用対効果も踏まえ、効率的な徴収の促進に取り組むようにとの御指摘をいただきました。

また、予算の執行につきましては、限られた財源をより効果的に活用するためにも、現場の状況を的確に把握し、さらに工夫を重ねるようにとの御指摘をいただきました。

施策推進上改善または検討を要する事項等では、共通事項として1項目、各部局別に11項目の計12項目につきまして御指摘をいただいたところでございます。

私ども執行部といたしましては、これらの御指摘、さらには各部局の審議の過程で御指導をいただきました事項に十分留意しながら、適切な予算の執行を図るとともに、一層の財政健全化、財源確保に努めてまいるのでございます。

委員の皆様方におかれましては、今後とも御指導、御支援を賜りますようお願い申し上げます、お礼の言葉といたします。

誠にありがとうございました。

○田代国広委員長 それでは、閉会に当たり私から御挨拶を申し上げます。本日まで、9回にわたり決算特別委員会を開催してまいりました。委員の皆様には、終始熱心に御審議いただき、また、執行部においては、懇切丁寧な説明により審議に御協力いただきまして、厚く御礼申し上げます。

令和元年度の各会計の決算状況を審査し、各委員から多くの御発言がございました。収入未済の解消や経費の節減に努めることはもとよりではございますが、議決された予算に

については、目的とする事業効果の実現に向けてしっかり執行することや、あるいは、事業の一層の充実を求めるものも多く出されております。

執行部におかれては、委員長報告に取り上げなかった意見も含めて、検討をお願いするとともに、限られた人員で大変な中ではありますが、新型コロナウイルスの感染拡大防止と地域経済や県民生活の回復、熊本地震や令和2年7月豪雨からの復旧、復興など、今後とも県政の様々な課題に真摯に取り組んでいかれますよう、お願いいたします。

最後になりますが、御協力いただきました委員の皆様、執行部の方々に、そして補佐していただきました高木副委員長に対し、改めて、心から感謝を申し上げまして、閉会に当たっての御挨拶とさせていただきます。どうもお世話になりました。

これをもちまして第9回決算特別委員会を閉会します。

大変お疲れさまでした。

午前10時33分閉会

熊本県議会委員会条例第29条の規定により
ここに署名する

決算特別委員会委員長